

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成23年6月23日 (2011.6.23)

【公表番号】特表2010-527010(P2010-527010A)
 【公表日】平成22年8月5日 (2010.8.5)
 【年通号数】公開・登録公報2010-031
 【出願番号】特願2010-507712(P2010-507712)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 27/26 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

A 6 1 B 5/1486 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 1/00 1 0 2 C

G 0 1 N 27/26 3 8 1 A

G 0 1 N 27/26 3 8 1 D

G 0 1 N 27/46 3 3 8

G 0 1 N 27/46 3 5 3

G 0 1 N 1/00 C

A 6 1 B 5/14 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月6日 (2011.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被分析物センサーを校正する方法であって：

第 1 の溶液を収納する容器を提供し、ただし、該センサーの検知領域は前記第 1 の溶液と接触しており；

該センサーより第 1 の校正信号を取得し；

注射器により前記第 1 の溶液を収納する容器中に第 2 の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの校正信号を生成し；および

前記第 1 の校正信号および任意の追加の校正信号を使用して校正因子を計算し、それにより該被分析物センサーを校正することを含む方法。

【請求項 2】

注射器により前記容器中に第 2 の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの校正信号を生成する工程を繰り返すことを更に含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

注射器により前記容器中に第 2 の溶液のある量を添加し、その際に、前記センサーは、もう一つの校正信号を生成する工程を 2 回繰り返す請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

該第 2 の溶液の事前に計量された量を添加するために、前記注射器は少なくとも 1 回停止する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記被分析物センサーはグルコースセンサーである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記グルコースセンサーは血管内グルコースセンサーである請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 2 の溶液はグルコース溶液である請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記グルコース溶液は 0 m g / d L および 1 0 g / d L の間のグルコース濃度を有する請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記被分析物センサーは p H センサーである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 0】

前記第 2 の溶液は酸である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記第 2 の溶液は塩基である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記容器はトノメータである請求項 1 に記載の方法。